森林防疫ニュース

VOL. 8
No. 10
(*No. 91*)

編集　林野庁　　　発行　全国森林病虫獣害防除協会　　　1959. 10. 1

目　　次

解　説

森林害虫としてのハバチ類‥‥‥‥‥奥谷　禎一‥ 2

マツマダラメイガ Dioryctria abietella（マダラメイガ亜科）は本州では杉の毬果を食害する‥‥‥‥‥六浦　晃‥ 4

ルイスナガキクイムシの加害樹種について‥‥‥‥‥加辺　正明‥ 5

観　察

スギ種子の害虫被害‥‥‥‥‥中野　博正‥ 6

情　報‥‥‥‥‥ 7

刊行物紹介‥‥‥‥‥22

解　　説

森林害虫としてのハバチ類

奥　谷　禎　一

はじめに

わが国には，欧米先進国のような博物館組織がきわめて貧弱なため，昆虫類の分類学的研究は100年以上も遅れているといわれる。その中にあつて森林害虫の研究は，農業害虫に比べ，更に甚しく遅れていることは，再々本誌上でも取りあげられている。

ハバチ類（膜翅目，広腰亜目）もその例にもれず，約600種が記載されているが，なお200種近くの新種があると推定される。成虫については，竹内吉蔵博士が，長年にわたる研究を続けられているが，それでもようやく，以上のような状態である。その幼虫については，筆者のわずかな努力で，目下その1/4の約200種を集め得たにすぎない。従つて，まだ，その全貌を把握するには程遠いうらみはあるが，特に森林保護上から見て，問題となるグループを中心にして，幼虫の分類・生態学的解説を試みよう。なお，幼虫の全形その他については，北隆館発行の「日本幼虫図鑑」（1959, 7月）に64種の幼虫を図示説明しておいたので，参照頂ければ幸である。

茎幹に穿孔する幼虫

幼虫が穿孔性をもつものは，クビナガキバチ科，キバチ科，クキバチ科及びヨフシハバチ科は全部，ハバチ科及びナギナタハバチ科の極く小数に知られている。何れも甲虫類のタマムシ・カミキリムシと異り，頭が半球形で，胸に陥入することがないので，区別できる。その検索表を次に示してみよう。

1．尾端に突起を有す‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥2
　尾端に突起をもたない
2．材部に穿孔する‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥3
　新梢又は草本に穿孔する1又は2節の微小な尾肢を有する‥‥‥‥‥クキバチ科 *Cephidae*
3．体はややS字状に曲る。広葉樹に穿孔する。頭頂会線は不明瞭ながら認められ，頭楯・上唇に剛毛を生じ，触角3節。‥‥クビナガキバチ科 *Xiphydriidae*
　体は弯曲せず，針葉樹・広葉樹に穿孔する。頭頂会線は欠く，頭楯・上唇何れも剛毛なく，触角1節（触角基大きく，一見2節）‥‥キリバチ科 *Siricidae*
4．シダの葉柄に穿孔する‥‥‥‥‥‥‥‥‥5
　種子植物に穿孔する‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥6
5．第8及び9腹節背面にはさみ状の突起を生じ2節より成る尾肢を有す。‥‥‥ヨフシハバチ科 *Blasticotomidae*
　第8・9腹節に突起を生じない‥‥‥ハバチ科 *Teuthredinidae*
　　　　　　　　　　　　　　　（*Heptamelus* 属）
6．針葉樹の新梢に穿孔する‥‥‥ナギナタハバチ科 *Xyelidae*
　バラ類の新梢に穿孔する‥‥‥‥‥ハバチ科
　　　　　　　　　　　　　　　（*Ardis* 属）

以上のうちキバチ科・クビナガキバチ科は枯木に穿孔する。クキバチ科では一部はイネ科の植物に穿孔するが，残りは，バラ・アカガシ・サンゴジユなどに穿孔することが知られている。ナギナタハバチ科のものは，主にマツなどの雄花に穿孔するといわれるが，北米に於て *Pleroneura* 属のものが，モミ属（*Abies*）の新梢に穿孔して大害を与えた記録があるので，わが国では未発見であるが，大方の注意を引くため，記しておいた。

針葉樹を加害するハバチ類

針葉樹を加害するものは，時に大発生をし，多大の害を与えることがあるので，特に注意する必要がある。マツハバチ科は総て針葉樹を加害し，ヒラタハバチ科邦産4属中2属（*Cephalcia, Acantholyda*）及びハバチ科ネマツス亜科の *Pristiphora* と *Pachynematus* との2属の一部に針葉樹を加害するものが知られる。このほかヨーロツパには *Anoplouyx,* アメリカには *Pikonema* などが知られるが，何れもネマツス亜科のものである。次にこれらの検索表を掲げる。

1．腹脚を欠き，触角7節，尾肢を有する。吐糸により天幕状の巣をつくり，中に群棲する。
　‥‥‥ヒラタハバチ科 *Pamphiliidae*
　腹脚を有し，触角3～4節，尾肢を有せず。‥2

2.腹脚7対（尾脚を含む），触角4節，腹部小環節5～6で，やや不明瞭・・・・・ハバチ科（ネマツス亜科）*Nematinae*

腹脚8対，触角3節，腹部小環節6で，明瞭である。・・・・・・・・・マツハバチ科 *Dipvionidae*

針葉樹は比較的単純林が多いため，今日までにこれらに属するハバチ類の大発生により，かなりの被害を受けている。ヒラタハバチ科では，ドイツトウヒにオオアカズヒラタハバチ *Cephalcia isshikii* TAKEUCHI が，カラマツにカラマツヒラタハバチ *C. Koebelei* ROHWER がその有名なものである。

マツハバチ科では，マツノキハバチ *Nexodiprion sertifer* GEOFFROY，及びマツノミドリハバチ *Nesodiprion japonica* MARLATT がマツ類（*Pinus*）に，マツノクロホシハバチ *Diprion nipponica* ROHWER がカラマツ及びマツ類に多大の害を与えている。このほか，トウヒ類（*Picea*），モミ類（*Abies*）等にも本科のものがつくが，これらの大発生は聞かない。しかし，ハバチ類の一般的性質として，何時大発生をするか判らないので，充分調査をしておく必要はあると思われる。

ハバチ科では，古くよりカラマツにカラマツハラアカハバチ *Pristiphora erchsoni* HARTIG が知られていたが，近年カラマツアカハバチ *Pachynematus itoi* OKUTANI が大発生を見，次で朝鮮より記録されていたカラマツキハラハバチ *P. laricivorus* TAKAGI，カラマツクロハバチ *P. nigricorpus* TAKAGI 等が発見され，矢野（1920）が記録した4種が滝沢（1957）によつて9種になつたことは，調査の不完全を物語るものであろう。なお滝沢（1957）は10種としてマツノキハバチをあげているが，マツノキハバチはマツハバチ科中唯一の卵越冬種であるので，カラマツへの加害は考えられないのではぶいた。また「森林有害動植物被害調査報告」にも再度にわたり，マツノキハバチがカラマツを加害するように記されているが，上記の理由により，恐らく誤認と思われる。さらに，滝沢氏よりの私信にもマツノキハバチはカラマツで成育するが，アカマツの場合よりはるかに悪いというから，カラマツアカハバチのような，体の黒い幼虫をマツノキハバチと誤つて同定しているのではないかと思われる。また，マツノキハバチ幼虫は一般に黒いが，高山に行くにつれて黒い部分が減じ，ハイマツ地帯のものでは一見別種のような観を呈するので間違いやすい。しかし，上記の検索表により区別されるので，今後注意して頂ければ幸である。

以上のほか，ヨーロッパではトウヒ・モミなどにもハバチ科のものが知られているが，わが国産のものでは未知である。さらに，今日までの各種の報告や，筆者の観察経験からみると，外国からきた針葉樹が被害を受けやすいように思われる。

広葉樹を加害する幼虫

広葉樹には，非常に多くのハバチが知られているが，樹種多くまだその全貌をつかむには程遠い感がある。その加害形式も，単に葉を外から食うだけでなく，虫癭をつくつたり，葉を捲いたり，葉潜りをしたり色々である。一応の検索表をあげると次のようである。

1. 自由生活・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
   捲葉・虫癭・葉潜りなど・・・・・・・・・・・・・・・・6
2. 触角1節，腹部小環節は3又は7・・・・・・・・・3
   触角4節以上，腹部小環節は3～7・・・・・・4
3. 腹部小環節は 3，腹脚6対（尾脚を含む），胸腹節には，多数の肉眼で見える剛毛を生じる。・・・・・・・・・・・・ミフシハバチ科 *Argidae*
   腹部小環節は7，腹脚8対，胸腹節には顕微鏡的微毛及び肉隆起を有し，第1～8腹節気門背方に，半月形の腺を開口し，驚くと液を分泌する・・・・コンボウハバチ科 *Cimbicidae*
4. 触角4節で，かなり扁平，腹部小環節は3～6・・・・・・・・・・・・ネマツス亜科（ハバチ科）
   触角5節で，円錐状，腹部小環節は4～7，・・5
5. 腹部小環節は7，第3，第5小環節に微小な時に大きな肉突起をもつ。・・・・・・・ハバチ亜科 *Tenthredininae*（ハバチ科）
   腹部小環節は6以下，第2・第4小環節に突起を有するか，または先端2叉する大きな棘状突起を有する。但しこの場合は小環節数4である・・・・マルハバチ亜科 *Blennocampinae*（ハバチ科
6. 捲葉又は吐糸により群棲・・・・・・・・・・・・・・・7
   虫癭・葉潜り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
7. 吐糸により群棲する。腹脚を欠き，触角7節尾肢を有す。・・・・・・・・・・サクラヒラタハバチ属 *Neurotoma*（ヒラタハバチ科）
   捲葉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
8. 吐糸により捲葉する。腹脚なく，触角7節，尾肢あり。・・・・・・ヒラタハバチ属 *Pamphilius*（ヒラタハバチ科）
   吐糸せず捲葉する。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
9. ヤナギ類を捲葉する。葉縁又は芽を捲いている。触角4節，腹部小環節明瞭ならず，腹脚7対，褐色のまゆをつくる。・・・・・・ヤナギフシハバチ属 *Pontania*（ハバチ科，ネマツス亜科）
   サクラ類を捲葉する。葉全体を捲く。触角5節，腹部小環節4，第2・3小環節に棘状突起を有す。・・・・・・*Blennocampa*（ハバチ科，マル

ハバチ亜科)
10．ヤナギの葉に虫癭を生じる。…………11
葉潜り……………………………12
11．ヤナギの葉柄に虫癭を生じる。……*Euura*
(ハバチ科，ネマツス亜科)
ヤナギの葉身に虫癭を生じる。……ヤナギフシハバチ属
12．果実(ナシ類)に穿孔する。触角4節……
……ナシミバチ属 *Hoplocampa* 属(ハバチ科，ネマツス亜科)
葉潜りをする。…………………13
13．繭は土中につくる。……*Mesa*属，*Fenusa*属など(ハバチ科，マルハバチ亜科)
繭は葉中につくる。……ハムグリハバチ亜科 *Heterarthrinae*(ハバチ科)

広葉樹では，枯死する程の被害は出ていないようであるが，大発生をすると葉を食い荒して，樹勢をひどく弱めることがある。ハンノキ類(*Alnus*)で，筆者が調査した所，5科19種にも及ぶ加害者があつて，驚いた。内訳はヒラタハバチ科3種，クビナガキバチ科2種，キバチ科1種，ハバチ科11種，コンボウハバチ科2種で，ハバチ科には3新種も含まれている。また，ブナでは現在3種の幼虫を得ているが，何れも新種らしく，サクラも10種前後の加害者があるようである。とにかく先にも述べたように，今日の所では何種位のハバチがどんな樹種を加害しているか，ちよつと見当もつかない。

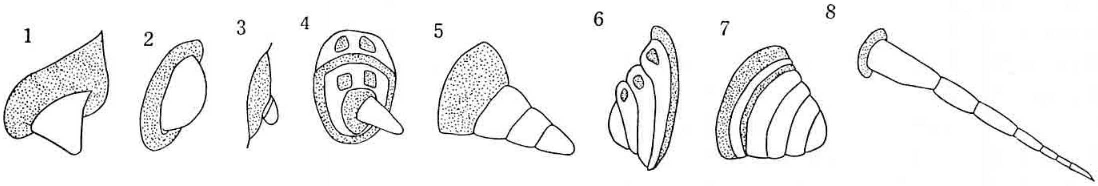
なお，本稿では樹木に加害するもののみを取扱つたが，ほかに草本を食草としているハバチが相当多数あることを忘れないでほしい。

きわめて，大ざつぱではあるが，本稿が森林防疫に従事する方々の参考ともなれば幸である。何れ後日，稿を改めて有用樹木に知られるハバチ類の食草目録を編纂してみるつもりである。

文　献

幼虫のまとまつたもののみをあげておく。

1．CAMERON, P., 1882—1893, A monograph of the British phytophagous Hymenoptera, The Ray Soc. London. Vol. 1～4.
2．LORENZ, H. und KRAUS, M., 1957, Die Larvalsystematik der Blattwespen. Akademie-Verlag, Berlin.
3．奥谷禎一，1959，日本幼虫図鑑 p. 548～582，北隆館
4．Peterson, A., 1951, Larvae of Insects. Part. I. pp. 237～277. Culumbus Ohio.
5．Yuasa, H., 1922 A Classification of the harvae of the Tenthredinoidea. I ll. Biol. Monogr. Vol. 7, No. 4.



ハバチ類の幼虫の触角(模式図) 1. ミフシハバチ科 2. コンボウハバチ科 3. ハムグリハバチ亜科(ハバチ科) 4. マツハバチ科 5. クビナガキバチ科 6. ネマツス亜科(ハバチ科) 7. ハバチ科の一般形 8. ヒラタハバチ科。　節数の少ない順にあげてみた。

(兵庫農科大学　助教授)

マツマダラメイガ *Dioryctria abietella*(マダラメイガ亜科)は本州では杉の毬果を食害する

六浦　晃

この種はマツノシンマダラメイガ *Dioryctria splendidella* と並び松類の重要な害虫の一つとして多くの害虫書に書かれていた。北海道においてはストローブ松・トド松・ドイツトウヒの毬果に被害の多い事を報告したが*，本州では何を加害しているのか全然不明であつた。この種はヨーロッパでは新梢にも食入するのであるが，新梢への食入は北海道・本州とも筆者はまだ見ていない。

今まで調査したところでは，針葉樹の新梢に食入するものはマダラメイガが亜科ではマツシンマダラメイガとマツアカマダラメイガの２種のみである。それで本種は毬果が全然実らない年には新梢にも食入するとも考えられるが，今のところ明らかな資料がないので確定出来ない。

さてこの種の成虫は本州では主として５～６月に夜間採集で各地で多数採集されており決して個体数の少ない虫ではないが，幼虫はどうしても松類の新梢や毬果では発見することは出来なかつた。林野庁より委嘱された針葉樹加害の小蛾類の分類学的研究を行なうに当つて，はたして幼虫は本州では何を食害しているのかと云うことは重要な課題の一つであり，又筆者も非常に疑問に思つていた次第であつた。

ところが昨年 10 月大阪府大一色周知教授により，大阪府泉北郡槇尾山で中型鱗翅類幼虫による杉の被害果と死虫が一匹見出され，被害の様子もマツマダラメイガに似ており，幼虫もこの種らしかつたが死虫なるため確定出来なかつた。本年８月末，一色教授はこの種の幼虫を同じく槇尾山の杉の毬果で多数採集された。この事でこの種は杉の毬果を食害している事が明らかになり，長年の疑問が解決された次第である。加害の様子は数個の毬果を虫糞で綴り合せ，それを貫通してその中で生活している。

本種の成虫の発生は北海道の場合と本州での成虫発生時期からして年一世代であると考えていたのであるが，本年杉の毬果で採集された幼虫より９月上旬に一匹の成虫が現われたので，或いは本州の南では年２回又はそれ以上の発生を行なう事も考えられるが，明らかな実例がなく，これも重要な課題の一つであり，何分にも多くの問題を含んでいる種である。

この種が杉の毬果を食害していると云う事は想像もしていなかつた事で，生態的にも興味深い問題と考えていたので一色教授に代り私がここに報告する。

最後にこのような研究は一地方ではとても十分な調査は出来ず，各地で生態の調査が行なわれる必要があり，各地の研究者各位の調査研究を待たなければならないと痛感した次第である。

＊ 六浦：松類を加害するマダラメイガ *Dioryctria* 属について，大阪府大・農・昆虫出版（1958）第４号

（大阪府立大学農学部）

ルイスナガキクイムシの加害樹種について

加　辺　正　明

本年８月北陸地方におけるキクイムシ相の調査において，とくに注目されることは，*Platypodidae* に属する種類が多く分布していて興味深いものがあつたことである。

そのなかでも，ルイスナガキクイムシ *Platypus lewisi* Bl. は北陸地方ではじめて採集された種類であるため，これが加害樹種について報告する。

従来までに判明している加害樹種は九州において日高氏によりアカガシ，モミを食害することが確認され，朝鮮で近藤氏がハリギリ，村山氏がミズナラから採集されている。また鳥取：伯耆大山において村山氏はブナノキ，ミズナラの食害を認められ，さらに山形県温海において斎藤氏はモンゴリナラから採集せられている。

筆者は 1955 年４月 23 日群馬：岩島においてコナラおよび 1955 年６月 11 日榛名山でトチから採集している，さらに 1959 年８月 16 日新潟県東蒲原郡三川村大字新谷のミズナラ，クリの伐根より採集し得た。これらの事実によつて本邦では東北から関東，北陸を経てさらに関西，九州南部におよび，これが西は朝鮮にまで伸び加害樹種も９種がわかつたわけである。なお文献によると南は台湾にまで分布していることが判明している。

（前橋営林局・農博）

観　察

スギ種子の害虫被害

中野博正

1. まえがき

林木種子が寄生蜂の害を受けて養苗事業の障碍となることは旧くから知られているが，徳島県下では本年4月初めてその被害に気付き問題となつたので，それについて記録することとする。

2. 被害発見の経緯

徳島県では現在までスギ種子の寄生蜂による被害は全く見当らず，一般苗家達からも等閑に付されていた。ところが本年4月偶然にも雨のため播種時期が遅れ，この被害に気付いたものである。徳島県那賀県相生町延野，延野森林組合取扱いの県直営種子をその管理責任者の一人福田忠氏が開封した所，その種子上に多数の蟻に似た虫の群つているのを発見した。福田氏はこの旨を同森林組合に連絡した後，徳島県林業指導所へ電話で問合せた。筆者は電話連絡で詳細の検討は出来なかつたが，『被害が非常に甚だしいようであれば種子の焼却以外に方法はない』と返事した。それにつけ加えて浸水処置を依頼し，翌日現地調査を行つた。その結果被害はスギタネバチによるものであることが確認された。

3. 被害の状況

1. 害虫の種類

スギノミオナガコバチ（異名スギタネバチ）

学名 *Megastigmus crynotomeriae* YANO

2. 被害種子の産地

被害を受けている種子は13箇所から採取され，地元相生町から8箇所，徳島県内唯一の林業地木頭村（キトウソン）から3箇所，鷲敷町から2箇所である（参照別表）。

産地について，当初の調査では木頭村産の種子は虫害は認められず，被害は相生町周辺に極限されるかと思われたが，精細に調査の結果，木頭村産のものにも被害が認められた。

3. 被害程度

1頭のタネバチは1粒の種子内容全部を食害し尽してしまうものであるから，ここで云う被害程度は被害率と云うことになる。

被害率はスギ種子の場合多いときには10％と云われ，（小沢：未選種子）風選子の水選浮遊種子率を被害の指数として10.7～64.6％であつた。（参照別表）

4. 防除法とその検討

徳島県の今回の被害は発見が遅れたために燻蒸，水選ともに効果的ではないが，スギタネバチの生態について，特に幼虫→蛹の時期を明示した文献がなく，今後の対策に非常に困惑している。幼虫時に燻蒸を行うとしても，その時期は操作の便宜上種子精選時を選びたいので，この時期に果してどのような方法が効果的かを検討してみたい。

二硫化炭素の燻蒸は小沢氏も指摘されている通り薬害の心配もあり，本県の場合もこの燻蒸を行つて失敗した例があるので避けたいと思う。メチール・ブロマイドの燻蒸は薬害の心配だけはないが，燻蒸効果がどの程度あるか？また，人畜に対する毒性等今後の課題ではなかろうかと愚考している。

5. むすび

他県ではこの虫の被害例を屡々見聞するが，徳島県では始めてのことで少からず動揺した。しかし，結局虫害粒を積極的に減少させる方法が見当らず，今後の対策に支障を来たしているので，お気付きの点ご教示賜われば幸甚である。

種子産地	種子量 l	被害率 ％	健全粒率 ％	備考
那賀郡木頭村大字南宇字西谷山 12	10.44	19.9	80.1	浸水19時間
那賀郡相生町大字横石字花方 24 の 14	14.58	10.7	39.3	〃
〃　字桑原	5.40	19.6	80.4	〃
〃　字花方 21	7.02	35.3	64.7	18時間
〃　鷲敷町大字百合字石橋 121	7.56	22.5	77.5	〃
〃　木頭村大字助字本村 121	5.94	32.5	67.5	〃
〃　相生町大字横石字川浦 24 の 1	14.40	40.8	59.2	17時間
〃　大字吉野字森の下 52	46.26	23.2	76.8	18時間
〃　大字横石字花方 24	3.06	25.7	74.3	〃
〃　字石原 34 の 2	7.92	64.6	45.3	17時間
〃　鷲敷町大字和食郷字南川 588	2.88	46.3	53.7	不浸水
〃　木頭村大字出原字キウノリ 25	13.86	21.6	78.4	〃
〃　相生町	4.68	43.7	56.3	〃

（徳島県林業指導所）

情　　報

◇ 被害速報

病　害

○ スギの赤枯病

発生の場所		被害程度	樹種 林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
福井	大野郡和泉村鷺後野	中	スギ 2年	面積 0.4ha 本数 14,000本	6.20	下和泉森林区 平岩与三次	防除をしている。
大分	日田郡中津江村	激	スギ 1〜5年	面積 3ha 本数 3,100本	6.10	県	

○ スギの暗色枝枯病

発生の場所		被害程度	樹種 林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
大分	日田郡中津江村	中	スギ 1〜5年	面積 11.3ha 本数 26,300本	6.15	県	
	日田郡上津江村	中	スギ 1〜5年	面積 7ha 本数 13,500本	6.15	県	
	日田郡前津江村	中	スギ 1〜5年	面積 2ha 本数 5,000本	6.15	県	
	日田市		スギ 1〜5年	面積 33.3ha 本数 72,800本	6.10	県	

○ 針葉樹稚苗の立枯病

発生の場所		被害程度	樹種 林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
京都	宮津市大字矢原		スギ 2回床替苗	面積 0.1ha 本数 175本	6.18	宮津事務所 嵯峨根技師	山間苗畑に発生。ウスプルン 800倍液 1 m^2 当り 3〜4 l 散布。

○ スギの一列多疣病

発生の場所		被害程度	樹種 林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
京都	加佐郡大江町大字河守		スギ 4年	面積 0.4ha 本数 1,100本	6.18	福知山市 藤田 信一	下枝の葉が次第に枯れて上方に枯れ上がつている。

○ スギの黒粒葉枯病

発生の場所		被害程度	樹種 林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
京都	船井郡和知町大字仏主		スギ 40年	面積 10ha 本数 14,000本	6.29	県 Sp. 樋本 金雄 園部事務所 田中 慶郎	3〜4月被害が目立つたが6月下旬には回復した。

○ スギのこぶ病

発生の場所		被害程度	樹種 林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
秋田	仙北郡西仙北村大字強首		スギ 25年	面積 0.01ha 本数 20本	6.23	大曲市 吉沢 修平	大豆大のコブが出来ている。

○ スギの赤枯病

○ スギの灰色かび病

発生の場所		被害程度	樹種 林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
大阪	高槻市大字原		スギ 2年生苗	面積 0.3ha 本数 200本	6.26	府 Ag. 福永 肇	水銀加用5斗式ボルドー散布。

○ アカマツの葉さび病

発生の場所		被害程度	樹種 林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
青森	青森局大畑署大畑事業区（下北郡大畑町）		アカマツ 6年	面積 1ha 本数 1,000本	5.31	局	ボルドー粉剤散布。
岩手	青森局一関署一関事業区（東磐井郡室根村）		アカマツ 2年	面積 6.08ha 本数 18,200本	5.8	局	ボルドー粉剤散布。
宮城	青森局気仙沼署谷石下事業区（本吉郡唐桑町）		アカマツ 2年	面積 6.66ha 本数 10,600本	5.4	局	ボルドー粉剤散布。

発生の場所		被害程度	樹種林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
宮　城	青森局気仙沼署谷石下事業区(本吉郡唐桑町)		アカマツ 3 年	面積 10ha 本数 15,400本	5. 4	局	
			アカマツ 4 年	面積 1.63ha 本数 4,500本	5. 4	局	
			アカマツ 5 年	面積 14.82ha 本数 41,500本	5. 4	局	
			アカマツ 11〜20年	面積 11.23ha 本数 6,738本 材積 119m³	5. 4	局	
			アカマツ 21〜30年	面積 91.11ha 本数 54,666本	5. 4	局	ボルドー粉剤 ha当り 30kg 散布。

○ トドマツの葉さび病 (*Uredinopsis kameiana* Fall)

北海道	上川郡当麻町		トドマツ 3 年	面積 1.2ha 本数 1,500本	6.29	道	亀井博士の鑑定による。

○ ナラタケ病

長　野	長野局上松署上松事業区 228 林班 (西筑摩郡上松町)		カラマツ 3 年	面積 5ha 本数 247本	6.25	上松署　竹花　修次	点々と発生。地下水の高い所には枯死木及び罹病率が高い。

○ キリのたんそ病

秋　田	由利郡大内村大字羽広		キ　リ	面積 0.6ha 本数 450本	6.22	大内村　伊藤　正雄	若い枝葉には褐色の斑点が見られ葉がちぢんでいる。

○ *Fusarium* 菌

○ *Phomopsis* 菌

千　葉	東葛飾郡鎌ケ谷村		クリ接木	本数 80,000本	6.20	県 Sp.　米林　俵三	接木が菌のためおかされた。台木は銀寄2年。保菌は穂木と思料される。

虫　害

○ ムラサキキンカメムシ

大　分	下毛郡山国町大字槻木字藤原		ス　ギ 20〜40年	面積 0.3ha 本数 500本	6.19	耶馬渓村　大森　則雄	主として毬果に寄生し発生量の多いものは枯死状態を呈している。32年6月にも発生。

○ トドミドリオオアブラムシ

北海道	砂川市字空知大		トドマツ 10年	面積 15ha 本数 5,000本	5.27	道	
	空知郡栗沢町		トドマツ 10年	面積 5ha 本数 5,000本	5.27	道	

○ スギノマルカイガラムシ

鹿児島	熊本局大根占署大根占事業区 116 林班 (肝属郡佐多町辺塚)		ス　ギ 5 年	面積 0.99ha 本数 500本	6.23	辺塚担当区　岩崎　昇	点状に発生しているが所により 4〜5 本団状に発生している。

○ スギメムシガ

宮　城	青森局仙台署仙台事業区 (名取郡秋保村)	微	ス　ギ 5〜10年	面積 12.49ha 本数 36,300本	5.13	局	標高 500m の所に幼虫態で発見した。

○ カラマツツツミノガ

発生の場所		被害程度	樹種 林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
岩手	青森局盛岡署盛岡事業区（岩手郡玉山村）		カラマツ 1～5年	面積 27.46ha	5.16	局	10ha BHC 粉剤散布。
			カラマツ 6～10年	面積 2ha			秋季防除予定。
			カラマツ 31～40年	面積 3ha			〃
	青森局盛岡署盛岡事業区（岩手郡玉山村）		カラマツ 41～50年	面積 176.88ha	5.16	局	〃
			カラマツ 51～60年	面積 29ha	5.16	局	〃
	青森局大船渡署大船渡事業区（気仙郡住田町）		カラマツ 21～30年	面積 20.39ha 本数 15,000本	5.14	局	一部燻煙剤，BHC 粉剤散布。
	青森局水沢署阿原山事業区（江刺市伊手町）		カラマツ 5 年	面積 1ha 本数 3,000本	5.27	局	BHC 粉剤散布。
	青森局遠野署遠野事業区（遠野市小友町）	激	カラマツ 11～20年	面積 4ha 本数 4,000本	6. 3	局	一部蛹化している。
		中		面積 1ha 本数 700本	6. 3	局	〃
		激	カラマツ 21～30年	面積 25ha 本数 21,500本	6. 3	局	〃
		中 微		面積 87ha 本数 21,500本	6. 3	局	〃
	青森局盛岡署盛岡事業区（岩手郡滝沢村）		カラマツ 31～40年	面積 0.2ha 本数 500本	6.10	局	〃

○ マツツマアカシンクイ（マツツマアカハマキ）

北海道	岩内郡共和村		クロマツ 6～8年	面積 5ha 本数 8,700本	7. 9	道	新梢の被害部を切り取り焼却。

○ ハマキガ科の1種

北海道	苫前郡苫前町字三渓		カラマツ 5，6 年	面積 1ha 本数 2,800本	6.18	道 留萠支庁	新梢を糸でまき，その中で食害している。BHC γ 3% 粉剤 24kg，EPN 1.5% 粉剤 24kg 散布。
	苫前郡苫前町字高島		カラマツ 3 年	面積 2ha 本数 5,500本	7.17	道	1 本当り 1～10 ケ所の新梢に被害が発生している。蛹幼虫が見られる。

○ カラマツツツミノガ

○ ハマキガ科の1種

北海道	札幌郡豊平町		カラマツ 20年	面積 2ha 本数 3,000本	6.23	道	ツツミノガは成虫，ハマキガは幼虫で発見。燻煙筒 5 筒で駆除。

○ カラマツイトヒキハマキ

岩手	青森局盛岡署姫神事業区（岩手郡玉山村数川）		カラマツ 21～30年	面積 137ha	6.19	玉山村局 阿部 輔	針葉を食害している。燻煙剤により防除。

○ カラマツハマキ

○ カラマツイトヒキハマキ

発生の場所		被害程度	樹種林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
北海道	磯谷郡蘭越町	激	カラマツ 4〜5年	面積 55ha 本数 99,000本	5.31	道	幼虫が針葉を食害している。
		中		面積 70ha 本数 125,000本			
	虻田郡真狩村	激	カラマツ 3〜5年	面積 35ha 本数 60,000本	6. 9	道	針葉を食害している。
		中		面積 80ha 本数 155,000本			
		微		面積 20ha 本数 37,000本			
	虻田郡狩太町	激	カラマツ 3〜5年	面積 25ha 本数 47,000本	6. 8	道	〃
		中		面積 15ha 本数 26,000本			
	虻田郡倶知安町	激	カラマツ 3〜5年	面積 40ha 本数 69,000本	6. 8	道	針葉を幼虫が食害している。
		中		面積 30ha 本数 52,000本			
	余市郡大江村	激	カラマツ 3〜5年	面積 78ha 本数 150,000本	6. 4	道	〃
		中		面積 56ha 本数 105,000本			
	余市郡余市町	激	カラマツ 3〜5年	面積 115ha 本数 220,000本	6. 4	道	〃
		中		面積 90ha 本数 178,000本			

○ カラマツツツミノガ

○ ハイイロアミメハマキ

○ カラマツイトヒキハマキ

発生の場所		被害程度	樹種林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
群馬	前橋局草津署草津事業区（吾妻郡嬬恋村）		カラマツ 3，4，26 36〜49年	面積 60ha	6.15〜29	草津署長	新葉を食害している。食害された針葉は淡色に変色している。

○ マツノコマダラメイガ

発生の場所		被害程度	樹種林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
山形	米沢市芳泉町松川河原		アカマツ（天） 8〜10年	面積 0.01ha 本数 15本	6.26	米沢市南原支所 Ag. 降幡 和男	昨年伸長の新梢を食害し生長が止つている。特に生育良好な幼令木に多い。
大分	東国東郡国東町大字岩戸寺		クロマツ 5年	面積 0.1ha 本数 400本	6.25	第9森林区 Ag. 野村 貢	新梢を食害枯れている。
宮崎	宮崎市大字住吉		クロマツ 7年	面積 5ha 本数 25,000本	6.20	宮崎市 初山 義郎	新梢部を食害している。被害枝の切除焼却をなす。

○ マツカレハ

発生の場所		被害程度	樹種林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
青森	三戸郡五戸町大字上市川		アカマツ 1〜5年	面積 0.5ha 本数 2,200本	6.22	五戸林務出張所 畑山 定雄	昨年の葉を食害し蛹化しつつある。BHC 散布。
	三戸郡五戸町		アカマツ 1〜5年	面積 0.1ha 本数 450本	6.22	五戸林務出張所 畑山 定雄	針葉を食害し蛹化しつつある。BHC 散布。
	上北郡六ヶ所村		クロマツ 6〜10年	面積 4.2ha 本数 20,000本	6.13	県	発生量は少い。BHC γ 3% 粉剤 ha 当り 20kg 散布。
岩手	青森局水沢署水沢事業区（胆沢郡前沢町）		アカマツ 6〜10年	面積 2ha 本数 2,500本	6. 1	局	BHC 粉剤散布予定。
	青森局水沢署水沢事業区（胆沢		アカマツ 6〜10年	面積 1.2ha 本数 1,500本	6. 3	局	BHC γ 3%粉剤散布。

発生の場所		被害程度	樹種 林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
	郡衣川村)						
岩手	青森局水沢署水沢事業区(胆沢郡衣川村)	中	アカマツ 50年	面積 13ha 本数 15,000本	6. 3	局	BHC γ 3% 粉剤散布。
		微		面積 16ha 本数 15,000本			
	青森局一関署一関事業区(一関市萩荘)	微	アカマツ 1〜5年	面積 5.8ha 本数 17,400本	5.25	局 一関市 跡部 一雄	燻煙剤により防除。
		〃	アカマツ 21〜30年	面積 7ha 本数 20,000本			
		〃	アカマツ 31〜40年	面積 6ha 本数 12,000本			
		〃	アカマツ 41〜50年	面積 1.7ha 本数 1,700本			
		〃	アカマツ 51〜60年	面積 0.35ha 本数 200本			
		〃	アカマツ 11〜20年	面積 1ha 本数 3,000本			
		中	アカマツ 1〜5年	面積 0.65ha 本数 1,900本			
		〃	アカマツ 6〜10年	面積 3.68ha 本数 12,000本			
		〃	アカマツ 11〜20年	面積 5.5ha 本数 17,000本			
	青森局一関署栃倉官造地(一関市萩荘)	微	アカマツ 1〜5年	面積 8,92ha 本数 42,400本	5.26	局	BHC 粉剤, 燻煙剤により防除。
			アカマツ 11〜20年	面積 38.13ha 本数 150,000本			
		〃	アカマツ 21〜30年	面積 78.51ha 本数 204,000本			
	青森局一関署山口田代官造地(一関市厳美町)	中	アカマツ (天) 21〜30年	面積 129ha 本数 645,000本	6.22	局 一関市 跡部 一雄	燻煙剤により駆除。
	青森局一関署一関事業区(一関市厳美町)		アカマツ (天) 11〜20年	面積 0.3ha 本数 1,500本	6.22	局 一関市 跡部 一雄	燻煙剤により駆除。
			アカマツ 61~100年	面積 0.2ha 本数 150本			
	青森局一関署一関事業区(東磐井郡藤沢町)		アカマツ 41〜50年	面積 36.8ha 本数 13,000本	6.10	局	燻煙剤により防除予定。
	青森局水沢署水沢事業区(胆沢郡衣川村)	微	アカマツ 41〜50年	面積 34.4ha 本数 79,000本	6.18	局	
宮城	柴田郡川崎町大字支倉		アカマツ 8〜40年	面積 0.5ha 本数 60本	6.16	川崎町 安孫子 茂	7〜8令の幼虫が針葉を食害し枯死の状態を呈している
	柴田郡川崎町大字支倉字音無		アカマツ 10〜50年	面積 0.5ha 本数 10本	6.25	川崎担当区 奈良 政雄	町有林に発生。BHC γ 3% 粉剤散布した所幼虫は死滅したが蛹になつていたものは生存している。民家の近くで周囲は水田になつている。
	青森局中新田署青木原官造地(加美郡中新田町)		アカマツ 21〜30年	面積 100ha	4. 1 6. 6	局	BHC 粉剤散布。
	青森局仙台署仙台事業区(仙台市新浜町)		アカマツ クロマツ 6〜10年	面積 9.86ha	4.16	局	BHC 粉剤, 燻煙剤防除。

発生の場所		被害程度	樹種 林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
宮城	青森局仙台署仙台事業区（仙台市泉町）		アカマツ 41〜50年	面積 18.31ha	4. 3	局	燻煙剤により防除。
	青森局古川署鳥矢崎官造地（栗原郡栗駒町）		アカマツ（人） 21〜30年	面積 50ha 本数 150,000本	4. 5	局	BHC γ 3％粉剤散布。
	青森局古川署玉沢官造地（栗原郡築舘町）		アカマツ（人） 21〜30年	面積 20ha 本数 60,000本	4. 5	局	〃
	青森局古川署金成官造地（栗原郡栗駒町）		アカマツ（人） 21〜30年	面積 20ha 本数 60,000本	4. 5	局	〃
	青森局古川署下山神官造地（栗原郡栗駒町）		アカマツ（人） 21〜30年	面積 15ha 本数 15,000本	4. 5	局	〃
	青森局古川署文字外1官造地（栗原郡栗駒町）		アカマツ（人） 21〜30年	面積 5ha 本数 5,000本	4. 5	局	〃
	青森局古川署尾松官造地（栗原郡栗駒町）		アカマツ（人） 21〜30年	面積 35ha 本数 70,000本	6.24	局	秋期 BHC 粉剤散布予定。
	青森局古川署津久毛官造地（栗原郡金成町）		アカマツ（人） 21〜30年	面積 40ha 本数 50,000本	6.24	局	〃
	青森局気仙沼署気仙沼事業区（本吉郡唐桑町）		アカマツ（天） 21〜30年	面積 2.48ha 本数 47本	6.11	局	BHC 粉剤散布。
		激	アカマツ（人） 31〜40年	面積 22.21ha 本数 3,646本			
		中		面積 5.8ha 本数 559本			
		微		面積 6.51ha 本数 494本			
		中	アカマツ（人） 41〜50年	面積 1.47ha 本数 406本			
		激	アカマツ（天） 41〜50年	面積 10.82ha 本数 3,584本			
		中		面積 12.75ha 本数 3,660本			
	青森局気仙沼署気仙沼事業区（気仙沼市）	中	アカマツ（天） 41〜50年	面積 9.5ha 本数 9,500本	5.25	局	BHC 粉剤 ha 当り 25〜30 kg 散布。
		微		面積 37ha 本数 31,500本			
	青森局中新田署姥乳官造地（志田郡松山町）	微	アカマツ（人） 11〜20年	面積 10ha	6.15	局	針葉を幼虫の体長 6〜8cm のものが食害している。
		微	アカマツ（人） 31〜40年	面積 60ha			
秋田	秋田市大字新屋砂奴寄		クロマツ 4〜52年	面積 43.8ha 本数 109,500本	6.20	秋田林業事務所	32年度に防除した所である。激害 34.6ha 中害 9.2 である。
	南秋田郡天王町大字追分西		クロマツ 13年	面積 54.4ha 本数 217,600本	6.20	〃	激害 24.4ha 中害 10ha 微害 20ha で生育良好な林分である。

発生の場所		被害程度	樹種 林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
秋田	男鹿市五里合中石北浜野		クロマツ 2〜30年	面積 163ha 本数 489,000本	6.20	秋田林業事務所	激害 43ha 中害 30ha 微害 90ha で生育良好な林分である。
福島	前橋局坂下署坂下事業区（河沼郡高郷村）		アカマツ 30〜50年	面積 164ha 本数 90,200本	6.22	坂下署	古葉を食害している。概して壮令木に多く幼令木には少い。特に衰弱木に多い。
	前橋局平署好間官造地（石城郡好間村北好間）		アカマツ 33年	面積 5ha 本数 10,000本	6.22	平署 赤川 晃	33年より発生を見ているが被害は微少で異常を認められない。隣接地にも発生している。
	前橋局平署入山官造地（内郷市白水町）		アカマツ 27年	面積 3ha 本数 6,000本	6.22	平署 赤川 晃	加害は微少で異常を認められないが，まん延のおそれあり。
	前橋局平署平事業区（石城郡四倉町上仁井田）		クロマツ 7〜300年	面積 2.1ha 本数 10,500本	6.23	平署 赤川 晃	被害は微少で生育の阻害はないものと思料される。
	南会津郡下郷町大字塩生		アカマツ 60年	面積 0.5ha 本数 50本	6.30	田島林業事務所下郷駐在所	針葉を食害している。
	安達郡岩代町		アカマツ 50年	面積 0.06ha 本数 49本	6.20	県	BHC 水和剤により防除。
	安達郡岩代町		アカマツ 45，55年	面積 0.2ha 本数 97本	6.20	県	
	安積郡湖南村		アカマツ 1〜10年	面積 0.32ha	5.25	県	BHC 粉剤散布。
	福島市岡山		アカマツ (天)20年	面積 2ha 本数 2,000本		県	本林地は間伐も実施されず生育も悪く密生している。燻煙剤により防除。
	信夫郡吾妻村		アカマツ (天)8年	面積 1ha 本数 5,000本	5.25	県	BHC 5% 水和剤散布。
	双葉郡楢葉町		アカマツ 8年	面積 0.7ha 本数 700本	7.10	県	現在蛹化しつつあるが，BHC 散布駆除予定。
	西白河郡大信村		アカマツ (人) 10〜50年	面積 12ha 本数 14,000本	6.30	県	〃
	西白河郡矢吹町		アカマツ (人) 10〜45年	面積 2.1ha 本数 7,600本	7. 3	県	BHC 散布予定。
	双葉郡双葉町		アカマツ (人)20年	面積 11ha 本数 44,000本	7.16	県	秋期 BHC 散布予定。
			アカマツ (人)6年	面積 8ha 本数 3,200本			
			クロマツ (人)8年	面積 6ha 本数 24,000本			
山形	米沢市大字長手		アカマツ 15〜80年	面積 992ha	6.24	米沢市 Ag. 山下市五郎	被害は一般に微少である。
	西村山郡左沢町大字三郷		アカマツ 60年	面積 0.2ha 本数 40本	6.29	西村山地方事務所 佐々木 実	現在蛹化しているものもあり針葉の食害は甚だしい。
群馬	前橋市金丸町		クロマツ 8年	面積 5ha 本数 12,500本	6.29	渋川林業事務所 矢板 政登	昨年附近に発生した。1本当り15頭位の7〜8令幼虫がいる。捕殺を行う。
石川	大阪局金沢署諸橋事業区（鳳至郡穴水町沖波）		アカマツ クロマツ 5〜20年	面積 78ha	6.27	輪島担当区 中村 照治	針葉を食害している。
静岡	東京局浜松署浜松事業区（引佐郡三ケ日町）		アカマツ クロマツ 9年	面積 1.4ha 本数 5,000本	7.10	局	BHC γ 3% 粉剤散布。
	東京局天城署韮山官造地（田方		アカマツ 5年	面積 1.6ha 本数 8,000本	7.16	局	枯損本数 2,200本で蛹の採取と孵化幼虫への BHC 粉

発生の場所		被害程度	樹種林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
	郡韮山町）						剤散布予定。
兵庫	養父郡大屋町大字加条		マツ 250年	本数 1本	6.20	大屋町 Ag. 羽淵 謙治	道路敷の老大木で全葉を殆んど食害枯死に瀕している BHC 粉剤散布。
宮崎	宮崎市住吉浜山		クロマツ 1～80年	面積 260ha 本数 650,000本	6.—	県 森本 厚雄	海岸防風林に発生。捕殺及び孵化時 BHC 散布予定。
	熊本局高崎署高崎事業区28林班（北諸県郡荘内町）		アカマツ（人） 4年	面積 0.2ha 本数 520本	6.16	牛ノ脛担当区 松岡 二郎	現在針葉に幼虫を認めるだけである。
	熊本局高崎署高崎事業区（北諸県郡荘内町）		アカマツ（人） 4～7年	面積 1.65ha	6.26	牛の脛担当区 松岡 二郎	現在蛹化しつつある。

○ ハラアカマイマイ

発生の場所		被害程度	樹種林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
群馬	利根郡片品村大字鎌田		カラマツ 15～25年	面積 1ha 本数 1,500本	6.24	片品村 Ag. 増田慎太郎	スギとの混交でカラマツのみ食害梢頭より順次下枝へと移動食害している。

○ マイマイガ

発生の場所		被害程度	樹種林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
北海道	空知郡中富良野村		カラマツ 3～9年	面積 7.2ha 本数 13,500本	7. 8	道	幼虫は老熟して食害している。
	空知郡上富良野町		カラマツ 5～12年	面積 22ha 本数 48,600本	6.20	道	BHC 5% 粉剤散布。
	上川郡東鷹栖村		カラマツ 5年	面積 0.7ha 本数 2,100本	6.20	道	針葉を食害して一部農地に浸入している。
	上川郡当麻村		カラマツ 3, 7年	面積 6.2ha 本数 8,000本	6.25	道	BHC γ 3%粉剤 ha 当り 30 kg 散布。
	上川郡東神楽村		カラマツ 5～20年	面積 4.9ha 本数 71,050本	5.14	道	幼虫が卵塊に密集し一部食害中。 BHC γ 3% 粉剤散布。
			シラカバ 5～10年	面積 1ha 本数 2,450本			
	苫前郡苫前町		カラマツ 3,6,20年	面積 5.17ha 本数 14,000本	6.24 7.17	道 留萠支庁	現在蛹化中。一部農地に浸入している。捕殺を行う。
	檜山郡上ノ国村		カラマツ 3～14年	面積 10.2ha 本数 18,900本	5.19	道	BHC 散布。
	虻田郡倶知安町		カラマツ 9年	面積 2ha 本数 6,800本	5.14	道	孵化したばかりで卵塊上に集つている。 BHC 粉剤散布。
	砂川市		カラマツ 4～10年	面積 43ha 本数 85,000本	5. 8	道	〃
	空知郡上砂川町		カラマツ 4～7年	面積 3.2ha 本数 8,600本	5. 6	道	〃
	空知郡高江村		カラマツ 2～15年	面積 100ha 本数 27,500本	4.28	道	〃
	美唄市		カラマツ 3～8年	面積 290.59ha 本数 209,300本	5.上	道	〃
	芦別市		カラマツ 2～20年	面積 84.9ha 本数 102,360本	5.10～16	道	〃
	南竜郡北竜村		カラマツ II, V令級	面積 16.43ha 本数 24,920本	5. 1	道	〃
	南竜郡多度志村		カラマツ 6～23年	面積 15.32ha 本数 32,300本	5. 1	道	〃
	雨竜郡沼田町		カラマツ	面積 27.01ha 本数 70,000本	5.10	道	〃

発生の場所		被害程度	樹種 林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
北海道	上川郡上川町		カラマツ 4〜7年	面積 3.5ha 本数 5,575本	5.19	道	BHC γ 3% 粉剤散布。
福島	双葉郡浪江町大字羽付		クヌギ,広葉樹 5年	面積 4.5ha 本数 70,000本	6.27	浪江町 Ag. 木村 好道	樹葉を食害し移動しつつある。
群馬	前橋局沼田署沼田事業区（利根郡利根村）		カラマツ 6〜10年	面積 13ha 本数 26,000本	5. 9	局	6月中旬加害樹種に附着し始めたので DDT 5% 粉剤を 30kg 散布。
新潟	南魚沼郡塩沢町		スギ 4〜50年 広葉樹	面積 250ha	6.19	塩沢町 Ag. 久保 益偉	激害 168ha，中害 82ha である。
	北魚沼郡広神村		広葉樹	面積 300ha	6.19	小出町 Ag. 岩田 錬	葉を食害し山間の田に侵入しつつある。
	前橋局六日町署六日町事業区（南魚沼郡塩沢町）		広葉樹 17〜44年	面積 38ha	6.19	六日町担当区 服部 武夫	激害 2ha，中害 3ha，微害 33ha である。薬剤駆除予定。
長野	南佐久郡向田町向田		アカマツ 25〜30年	面積 1.5ha 本数 200本	6.20	南佐久地方事務所 Ag. 渡辺 友二	アカマツの上部の新芽食害。
	南佐久郡野沢町		カラマツ 1，25年	面積 6ha 本数 15,000本	6.20	〃	1年生 2.5ha，25年生 3.5ha で針葉を食害している。
島根	邑智郡邑智町内田惣森		広葉樹 10〜30年	面積 41ha	6.20	県 吉岡 美城	33年度にも発生。天敵寄生蜂を認め直接防除は行はない。
宮崎	熊本局飫肥署日南事業区（南那珂郡北郷町北河内）		広葉樹	面積 3ha	6.26	北郷町 角中 良隆	ツバキ，サザンカは無害であるが樹葉を食い尽している。

○ カブラヤガ

発生の場所		被害程度	樹種 林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
岐阜	名古屋局下呂署舞台峠苗畑（益田郡下呂町）		ヒノキ カラマツ まき付苗		6.25	加子母担当区 加藤 敏雄	雑草を食害し雑草がなくなると苗木の樹幹を食害している。BHC 水和剤を散布。
山口	阿武郡旭村大字明木字笛吹		スギ 1回床替苗	面積 0.03ha 本数 250本	6.19	旭村 Ag. 田中 満泰	除草の際に土中より多く出て来た。糖，砒酸鉛，糖密を使用して毒殺する。

○ クスサン

発生の場所		被害程度	樹種 林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
福島	前橋局福島署福島事業区（安達郡大玉村）		クリ，クルミ 15〜20年	面積 0.1ha 本数 30本	6.30	玉井担当区 佐藤 孝一	葉を食害している。
茨城	東京局笠間署笠間事業区（西茨城郡友部町）		クリ 10年	面積 1ha 本数 200本	5.24	局	BHC 粉剤散布予定。
石川	珠洲市正院町岡田		クリ，ネムノキ		6.26	輪島担当区 中村 照治	庭園内のクリに発生，樹葉を食害していました。
奈良	吉野郡下市町立石		クリ 10〜15年	面積 2ha 本数 300本	6.20	第21森林区 Ag. 今西 重成	全葉を食害している。
島根	邑智郡邑智町		広葉樹	面積 3,000ha	6.24	県 吉岡 美城	現在営繭のため下降しつつある。28年以来6年振りの大発生である。
徳島	那賀郡鷲敷町		クス 800年	面積 0.01ha 本数 1本	6.23	県 中野 博正	消防ポンプにより幼虫を落して捕殺する。

○ ナミガタチビタマムシ

発生の場所		被害程度	樹種 林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
京都	熊野郡久美浜町甲坂		ケヤキ 70〜100年	面積 0.2ha 本数 6本	6.16	久美浜町 Ag. 奥田 繁夫	幼虫が樹葉を食害し2本には緑色が見られない。

○ スギハムシ

茨　城	多賀郡十王町大字高原	スギ，ヒノキ 5〜6年	面積　20ha 本数　50,200本	6.28	森林経営指導所 近藤　秀明	牧野のなかに新植したスギ林でスギハムシで枯死した箇所にヒノキを補植してある。成虫の発生が多い。
岐　阜	揖斐郡久瀬村大字三倉	スギ 8〜13年 ヒノキ 8年	面積　10ha 本数　20,000本	6.29	久瀬村 Ag.　竹中　博生	激害 6ha 中害 2ha 微害 2ha である。BHC 粉剤 ha 当り 30kg 散布。
三　重	一志郡久居町大字稲葉	アカマツ クロマツ ハンノキ 5年	面積　6ha 本数　23,000本	6.24	久居林業事務所 林　徳治	クロマツ，アカマツを主林木をとしている。
京　都	福知山市大字長田	スギ 10〜15年	面積　50ha 本数　150,000本	6.25	福知山事務所 岡田修一郎	32年度にも大量発生し燻煙剤で防除する。枯死木は20〜30本である。1樹数百匹寄生している。
大　阪	北河内郡交野町私部	マツ 4年	面積　0.2ha 本数　800本	6.19	府　荻田　健三	尾根筋のマツを食害している。
兵　庫	大阪局神戸署神戸事業区（洲本市由良町）	クロマツ 2年	面積　15.07ha	6.24	神戸署　篠原　春雄	梢端部より順次下方に食害している。BHC γ 1%粉剤 ha 当り 25kg 散布。
	大阪局神戸署神戸事業区（神戸市垂水区伊川谷町胁）	クロマツ 3年	面積　0.55ha 本数　1,200本	6.25	神戸署　奥川　信人	針葉を食害している。
	大阪局神戸署神戸事業区（三原郡三原町）	クロマツ 1年	面積　12.28ha	6.26	神戸署　篠原　春雄	BHC γ 1%粉剤 ha 当り 25kg 散布防除。
奈　良	高市郡高取町丹生谷	スギ 6年	面積　0.6ha 本数　6,000本	6.16	第5森林区 Ag. 松岡善之助	32年度に始めて被害発生。BHC γ 3% 粉剤散布。
大　分	東国東郡国東町深江	スギ，ヒノキ3年	面積　0.2ha 本数　600本	6.20	第9森林区 Ag. 野村　貢	主にスギに寄生し枯死前である。

○ スギカミキリ

山　口	阿武郡阿東町嘉年上	スギ 3年	面積　0.2ha 本数　400本	6.25	阿東町 Ag.　水津　民一	

○ カシアシナガゾウムシ

長　野	中野市大字桜沢	クヌギ 4〜10年	面積　30ha 本数　10,000本 材積　60m³	6.28	下高井地方事務所 Ag. 原　広司	付着している虫癭は比較的に少いが周囲への影響大なるため防除の要あり。

○ マツキボシゾウムシ

山　形	米沢市芳泉町松川河原	アカマツ （天） 8〜10年	面積　0.01ha 本数　16本	6.26	米沢市 Ag.　降幡　和男	枝条の基部に穿孔している。コマダラメイガ穿孔の後に侵入している。

○ マツノキクイムシ

和歌山	大阪局高野署高野山国有林（伊都郡高野町）	アカマツ 40年	本数　1本 材積　0.33m³	6.24	九度山担当区 畠山　光範	枝葉変色し枯死寸前なり。樹幹の根本に幼虫を発見。

○ マツノコキクイムシ

秋　田	秋田市大字新屋砂奴寄	クロマツ 52年	本数　150本	6.25	秋田林業事務所	32年度マツケムシ被害の2次被害である。
鳥　取	岩美郡福部村湯山赤坂	クロマツ 5年	面積　0.01ha 本数　20本	6.17	東部山林事務所 小河松太郎	砂丘地内のマツが団状に枯損しつつある。

○ トドマツキクイムシ
○ ヤツバキクイムシ

発生の場所		被害程度	樹種、林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
北海道	士別市上士別町		エゾマツ トドマツ 60~200年	面積 40ha 本数 356本 材積 508.35m³		道	15号台風被害地で伐倒し搬出駆除。
	紋別市鴻之舞		エゾマツ トドマツ アカエゾマツ 61~180年	面積 142ha 本数 3,800本 材積2,196.2m³		道	伐倒はく皮焼却する。

○ ヒバノキクイムシ
○ カミキリムシ科の１種

神奈川	足柄下郡湯河原町大字宮上		スギ，ヒノキ 40年	面積 1ha 本数 70本 材積 19.46m³	6.19	足柄下地方事務所	食害のため樹幹根元より腐つている。なおまんえんのおそれがある。

○ マツシラホシゾウムシ
○ キイロコキクイムシ
○ マツノキクイムシ

千葉	東京局千葉署千葉事業区（銚子市）		クロマツ（人） 34年	面積 0.11ha 本数 23本 材積 6m³	6.16	局	まれに成虫を散見するが大部分は幼虫で発見する。伐倒はく皮焼却する。
			クロマツ（人） 6〜8年	面積 0.01ha 本数 1本			
			クロマツ（天） 73〜93年	面積 0.85ha 本数 118本 材積 30m³			

○ 松くい虫

鳥取	岩美郡津の井村紙子谷		アカマツ 80~100年	面積 1ha 本数 4本 材積 5m³	6.19	東部山林事務所 平尾 二郎	数年前より毎年春期発生している。

○ スジコガネ

三重	度会郡度会村和井野日向		モミ 5〜10年	面積 3ha 本数 50本	6.末	度会村 浦田 吉介	尾根及び中腹のモミの点在木を梢端より加害移動している。
熊本	阿蘇郡蘇陽町下山		スギ 15〜40年	面積 36ha 本数 6,000本	6.30	阿蘇事務所 岩本 幾雄	BHC γ 3% 粉剤 60kg 及び燻煙剤で駆除。
鹿児島	熊本局大根占署大根占事業区（肝属郡佐多町郡）		スギ 26年	面積 1.37ha 本数 3,500本	6.25	郡担当区 古市 牧夫	成虫が梢にむらがり針葉を食害している。

○ ヒメコガネ

京都	与謝郡野田川町		ヒノキ 1，2年苗	面積 0.4ha 本数 4,500本	6.18	野田川町 Ag. 山田 勇二	幼虫により根を食害されている。アルドリン，エンドリン 400〜600 倍液散布。

○ マツノキハバチ

岩手	青森局久慈署久慈事業区（久慈市侍浜町）		アカマツ 11〜20年	面積 0.1ha	6. 5	局	薬剤散布する。

発生の場所		被害程度	樹種 林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
栃木	今市市		アカマツ 2〜7年	面積 28.2ha 本数 83.000本	5. 4 〜13	県	BHC 粉剤を散布駆除する。
	塩谷郡藤原町		アカマツ 2〜6年	面積 12ha 本数 53,000本	5. 4 6. 1	県	11ha に対し BHC 粉剤 ha 当り 11kg 散布。
岐阜	大野郡荘川村		アカマツ 2〜10年	面積 3ha 本数 5,000本	6.17	荘川村 中垣 勇三	33年度に発生 BHC 粉剤散布したが本年も発生を見た。

○ マツノミドリハバチ（？）

群馬	前橋局大間々署大間事業区（勢多郡黒保根村）		カラマツ 1〜5年	面積 18.8ha 本数 41,400本	6.27	局	幼虫が針葉を食害している幼虫よりミドリハバチと判定燻煙剤により防除したがなおハラアカハバチ類と酷似しているので同定中。

○ マツカレハ

○ マツノキハバチ

茨城	多賀郡十王町高原		アカマツ クロマツ 5〜6年	本数 500本	6.18	森林経営指導所 近藤 秀明	牧野のなかに散在するマツに発生している。
栃木	那須郡黒磯町		アカマツ 1〜4年	面積 15ha	5.20	県	針葉の食害が甚だしい。
	大田原市		アカマツ 1〜2年	面積 4ha	5.22	県	〃

○ クリタマバチ

福島	安積郡熱海町		クリ 11〜30年	面積 0.97ha 材積 300m³	6. 5	県	伐倒焼却。
	勿来市山田町大字梅平		クリ 5, 10, 25年	面積 0.03ha 本数 11本	6.17	勿来市 石井 淙三	32年から発生，枝条伐採焼却。
茨城	東京局笠間署笠間事業区（西茨城郡友部町）		クリ 10〜20年	面積 1.5ha 本数 50本	5.26	局	ゴール採取予定。
長野	中野市田上		シバクリ 3〜10年	面積 0.02ha 本数 100本 材積 3m³	6.24	下高井地方事務所 Ag. 原 広司	谷筋の薪炭林に点在するシバクリに発生している。

○ スギタマバエ

高知	高知局川崎署川崎事業区（幡多郡西土佐村藤の川）		スギ 8年	面積 0.05ha	6.16	川崎署 野村 晴志	群状に被害が発生している被害は激害。

○ スギザイノタマバエ

宮崎	西諸県郡飯野町吉弁田		スギ 23〜24年	面積 6ha 本数 300本 材積 27m³	6.23	飯野町 藤井 良市	BHC γ 3%粉剤散布後伐倒はく皮焼却の予定。

○ マツバノタマバエ

山口	佐波郡徳地町御所野		アカマツ 40年	本数 2本 材積 0.3m³	6.27	徳地町 Ag. 山本 覚信	学校の校庭に植えてあるものに発生枯死寸前である。

○ 根切虫の１種

○ コガネムシ科の１種

発生の場所		被害程度	樹種林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
岩手	九戸郡山形村霜畑		カラマツ 播種苗	面積 0.1ha	6.28	山形村 Ag. 富岡 礼次	苗畑の稚苗を食害しているアルドリン散布。同定中。

○ スギノハダニ

宮城	本吉郡津山町		スギ 3〜7年	面積 300ha 本数1,000,000本	6.20	津山町 Ag. 芦田 栄一	昨年一部発生。DN粉剤散布。
	黒川郡大和町，大郷村，大衡村		スギ 2〜8年	面積 500ha	6.26	大衡村 高橋 技師	新梢は白色，その下部は黄褐色を呈している。
	白石市大平森合		スギ 3〜7年	面積 1ha 本数 4,500本	6.30	白石市 Ag. 猪野今朝松	特に0.5haは激害で枯死にひんしている。
福島	東白川郡塙町東河内		スギ 2年	面積 1ha 本数 3,000本	6.17	県 Sp. 佐々木技師	DN粉剤散布予定。
			スギ 2〜13年	面積 582ha	6.17	県 Sp. 佐々木技師	DN粉剤散布予定。
	平市赤井，内郷市，常磐市，石城郡三和村，好間村		スギ 1〜20年	面積 100ha 本数 280,000本	6.28〜7.7	県	DN粉剤散布予定。
	双葉郡楢葉町		スギ 8年	面積 0.5ha 本数 1,000本	6.10	県	DN粉剤，サツピランにより駆除。
	西白河郡大信村		スギ 5〜25年	面積 1.5ha 本数 3,800本	7.5	県	乾燥地の平坦林で不良木が多い。DN粉剤，サツピランにより駆除。
	西白河郡矢吹町		スギ 10〜25年	面積 1.5ha 本数 3,800本	7.10	県	DN剤，サツピランにより駆除。
	西白河町表郷村		スギ 3〜20年	面積 414ha	7.10	県	〃
	西白河郡東村		スギ 3〜20年	面積 80ha	7.10	県	〃
	白河市		スギ 3〜20年	面積 460ha	7.10	県	〃
	田村郡三春町		スギ 5〜25年	面積 0.01ha 本数 30本	7.10	県	〃
	田村郡西田村		スギ 5〜25年	面積 0.01ha 本数 30本	7.10	県	〃
	田村郡中田村		スギ 5〜25年	面積 0.04ha 本数 120本	7.10	県	〃
	東白川郡古殿村		スギ 3，7年	面積 54ha 本数 19,500本	7.4	県	〃
	東白河郡棚倉町		スギ 10年	面積 21ha 本数 63,000本	7.4	県	〃
	東石川郡石川町		スギ 7年	面積 6ha 本数 6,000本	7.4	県	〃
茨城	真壁郡真壁町椎尾		スギ 8〜10年	面積 5ha 本数 15,000本	6.22	第36森林区 Ag. 那花 栄市	黄褐色を呈し生長は殆んど止つている。
	東京局笠間署笠間事業区（真壁郡真壁町，大和町）		スギ 6〜9年	面積 8.5ha	6.25	真壁担当区 桜岡 覚	4ha位は褐色でその他は黄色を呈し今後相当の被害を予想される。
	真壁郡真壁町白井		スギ 5〜10年	面積 10ha 本数 25,000本	6.27	第36森林区 Ag. 那花 栄市	
埼玉	児玉郡美里村広木大林		スギ 3，14年	面積 0.5ha 本数 1,300本	6.26	児玉林務出張所 Ag. 柳 三郎	黄褐色に変色している。
神奈川	小田原市久野		スギ 6〜7年	面積 2ha 本数 6,000本	6.18	足柄下地方事務所 白井 尋匡	生育良好な林分に発生，針葉は茶褐色を呈している。

発生の場所		被害程度	樹種 林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
新潟	佐渡郡新穂村大野		スギ 3〜5年	面積 40ha 本数 160,000本	6.29	佐渡林業事務所 Ag. 羽深 輝雄	激害 30ha 中害 10ha である。
福井	大阪局敦賀署敦賀事業区(敦賀市小河口)		スギ 2〜10年	面積 5.69ha	6.23	敦賀署長	従来より被害はなかつたが本年にいたつて被害が発生した。
静岡	東京局浜松署浜松事業区(浜名郡湖西町)		スギ 9年	面積 0.5ha	6.26	尾奈担当区 屋代 栄久	2,3本づつ点状にやや針葉に生色を失つている。
三重	北牟婁郡長島町		スギ,ヒノキ 5〜10年	面積 50ha 本数 150,000本	6.20	第37森林区 Ag. 小椋 重吉	昨年はネオサツピラン散布。
京都	相楽郡山城町上狛		スギ2回床替苗	面積 0.5ha 本数 60,000本	6.26	木津事務所 田川富士雄	
岡山	御津郡加茂川町小森		スギ 5〜6年	面積 1ha 本数 2,000本	6.25	第59森林区 Ag. 今井 勝	針葉が黄変したものが点々と認められた。
広島	比婆郡東城町受原		スギ 6〜8年	面積 3ha 本数 9,000本	6.20	東城町 塚橋 哲夫	針葉は淡黄色に変色している。ネオサツピラン粉剤散布。
高知	高知局川崎署川崎事業区(幡多郡西土佐村藤の川)		スギ 4〜8年	面積 37ha	6.16	川崎署 野村 晴志	点状又は群状に発生している。
	室戸市吉良川町日ノ熊		スギ 5年	面積 0.8ha 本数 1,500本	6.16	室戸市 小松 茂英	昨年発生。マラソン乳剤を散布した。
熊本	阿蘇郡小国町下城		スギ 3年	面積 2ha 本数 5,000本	6.16	阿蘇事務所 Ag. 岩本 幾雄	DN粉剤の散布。
大分	下毛郡本耶馬渓村		スギ 2〜10年	面積 130ha 本数 350,000本	6.29	本耶馬渓村 Ag. 杉本 正之	被害木は生色を失し灰黄変して生長を停止している。
	玖珠郡九重町右田		スギ 4〜5年	面積 15ha 本数 45,000本	6.30	玖珠農林事務所 石井 吉日	
	玖珠郡九重町		スギ 1〜5年	面積 10ha 本数 29,000本	6.20	県	DN粉剤 ha 当り 30kg 散布。
	臼杵市		スギ 5〜10年	面積 15ha 本数 43,000本	7.10	県	〃
	津久見市		スギ 5〜10年	面積 14ha 本数 41,500本	7.10	県	〃
宮崎	西諸県郡飯野町		スギ 6年	面積 14ha 本数 42,000本	6.下	西諸県農林事務所長	
	西諸県郡高原町		スギ 11年	面積 5ha 本数 21,000本	6.下	〃	
	熊本局飫肥署日南事業区(南那珂郡北郷町北河内)		スギ 8年	面積 5ha	6.30	北郷町 角中 良隆	針葉は黄変している。

○ ツヤコガネ

○ スギノハダニ

長野	中野市三ツ和		スギ 3〜5年	面積 1.5ha 本数 5,000本	6.29	下高井地方事務所 Ag. 原 広司	昨年も一部に発生し本年にいたり拡大した。

○ スギタマバエ

○ スギノハダニ

高知	高知局川崎署藤の川苗畑(幡多郡西土佐村藤の川)		スギ 3〜17年	面積 0.57ha 本数 1,600本	6.16	川崎署 野村 晴志	さし木台木に発生被害は軽微である。

○ スギメムシガ

○ スギハムシ

○ スギノハダニ

発生の場所		被害程度	樹種 林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
茨城	多賀郡十王町高原		スギ 5〜6年	面積 20ha 本数 50,000本	6.18	森林経営指導所 近藤 秀明	牧野の中に新植したスギに発生している。

獣害

○ ムササビ

大分	南海部郡蒲江町竹ノ浦河内		ヒノキ 2年	面積 0.3ha 本数 900本	6.26	蒲江町 望月 庄七	根元部の皮を剥いでいる。

○ ノネズミ

青森	青森市			面積 209.95ha	7.27	県	開拓畑の被害である。
	西津軽郡深浦町			面積 91.1ha			
	中津軽郡岩木村			面積 97.2ha			
	黒石市			面積 143.8ha			
	南津軽郡大鰐町			面積 28.9ha			
	南津軽郡碇ヶ関村			面積 47.75ha			
	南津軽郡平賀町			面積 96ha			
	南津軽郡十和田町			面積 89.7ha			
	下北郡川内町			面積 83.1ha			
	下北郡佐井村			面積 326.9ha			
	青森局脇野沢署脇野沢事業区(下北郡脇野沢村)		スギ 1〜5年	面積 0.16ha 本数 218本	5.14	局	殺鼠剤を配置予定。
			クロマツ 1年	面積 3.4ha 本数 7,800本	5.10	局	〃
	青森局大畑署大畑事業区(下北郡大畑町)		アカマツ まき付苗	面積 854m² 本数 236,700本	5.13	局	〃
岩手	青森局久慈署久慈事業区(久慈市宇部町)		クヌギ 1〜5年	面積 1.93ha 本数 356本	5.14	局	殺鼠剤配置。
群馬	前橋局草津署草津事業区(吾妻郡嬬恋村)		カラマツ 4年	面積 2.2ha 本数 5,000本	6.12 6.22	局	ブリキ缶を使用して誘殺及び毒餌散布予定。
静岡	富士宮市上井出		ヒノキ 10年	面積 500ha	6.中	沼津林業事務所 望月 技師	このまま放置するならば全林枯死するに至る。
奈良	吉野郡川上村伯母谷		ヒノキ 2〜5年	面積 3ha 本数 6,000本	6.16	川上村 Ag. 松下 成文	29年天然林を伐倒スギ，ヒノキを植栽した所で地上10〜20cm の樹皮を食害している。
岡山	大阪局津山署津山事業区(苫田郡加茂町)		ヒノキ 6年	面積 5ha 本数 9,000本	6.30	津山署	クマササ密生地で根際より樹幹中部まで樹皮を食害して枯損45%に及んでいる。
宮崎	西諸県郡野尻町三ケ野山		スギ	面積 0.02ha 本数 27本	6.26	野尻町 Ag. 長友 格	屋敷林のスギを地上2m以上の所から上を食害し頂端より0.5mは完全枯死し，地上には樹皮が散乱し枝条上に鼠糞が附着している。

○ シカ

発生の場所		被害程度	樹種 林令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
宮城	青森局石巻署石巻事業区（牡鹿郡牡鹿町鮎川）		クロマツ 1〜2年	面積 19.66ha 本数 9,000本	6.30	鮎川担当区 浅野 幸雄	点在的に発生。若芽を食害し生育を阻害している。

○ ク マ

京都	京都市左京区久多宮の町大谷		スギ，ヒノキ，アテ 20〜70年	面積 20ha 本数 100本	6.25	京都林務出張所 井上 雅晴	尾根筋の歩道附近の樹幹の樹皮を地上1.8m位まで剝ぎ材質に歯型をつけている

新刊紹介

図説苗畑病害診断法（前編・後編）

（伊藤一雄著　前編132頁　昭和34年3月 ￥250，後編165頁 昭和34年9月 ￥300 林野共済会刊）

本書はさきに刊行された同じ著者による「苗畑病害論（総論）」（林業技術シリーズ No. 20）の続編として書かれた各論であつて，前編では針葉樹苗の病害，後編では広葉樹の苗木および幼令木の病害がとりあつかわれている。この本の特徴としては二つの点があげられる。

第一の特徴は，〃樹病の専門家でない人々でも実行可能な，簡易な病害診断法を示すこと〃を記述の目標としたという，序文からもうかがわれる。以前にくらべて実際業務にあたる人々の病害に対する知識は著しく向上しているが，やはり実際の被害を目の前にすると，その病名をきめるためには，どのような点に注意したらよいのか，またどのような方法によつて確認したらよいのか，なかなか難しい場合も多いことであろう。著者はこのために，それぞれの病害の記述にあたつてはまず〃病徴および標徴〃の項で肉眼的な特長を示し，更に〃診断の要点〃として病名の決定のための注意点（必要に応じては顕微鏡による特長あるいは培養上の特長）を示し，最後に〃防除法〃について述べている。これらは豊富にとり入れられた写真および図によつて理解が助けられている。またこのような診断のためにとられる方法については，前編のはじめの章（第2章診断法概要）をあて，顕微鏡の操作法や湿室処理法のみならず，培養基の作り方・病原菌の分離や培養の方法などについても懇切な説明がされている。

第二の特徴はその内容が最新の資料にもとずいていることであろう。研究の進展にともなつて，樹病の分野では年々数多くの新しい知見が加えられている。これらの何割かは本誌上でも適時とりあげられ解説されているが，ここに未発表のものをも加えてその要点が平易に説明されていることは，新しい発表文献に目を通す機会の少い人々にとつて特に役立つことが大きい。この意味でも府県の専門技術員や苗畑担当技術者にとつて好個の参考書であろう。

なお特用樹については別冊としてとり扱われるとのことであるが，その刊行がまたれる。　（今関六也）

刊行物紹介

東京農業大学　**農学集報**　第1巻第3号 12月 1958

後閑 暢夫：ヒメコガネ *Anomala rufocuprea* MOTSCHULSKY の孵化に及ぼす土壌水分の影響

東京農業大学　**農学集報**　第5巻第1号 7月 1959

後閑 暢夫：ヒメコガネ *Anomala rufocuprea* MOTSCHULSKY 卵の孵化に及ぼす温度及び土壌水分の影響

北海道造林振興協会　**林**　10月号 1959

篠原 均：15号台風の虫害防除をふりかえる

岡本 光雄：ポプラをめぐる虫の話

金子 祐一：野ねずみ退治

館山 一郎：今年の野ねずみ状況

大日本山林会　**山林**　9月号 1959

井上 元則：穿孔虫（松くい虫）の防除に林業の専門薬

大日本山林会　**山林**　10月号 1959

宇田川竜男：森林の動物社会

熊本営林局　**暖帯林**　9月号 1959

徳重 陽山：九州で若い針葉造林木を枯らす諸被害の見わけ方

森林資源総合対策協議会　**グリーン，エージ**　10月号 1959

内藤 進：ブナ材を防腐する

熊本営林局　昭和34年9月

吉井 竜男：スギタマバエの天敵について

昭和32年度森林有害動植物被害調査報告書刊行について

昭和32年度森林有害動植物被害調査報告書は取りまとめ中の所，此の程刊行されました。同書は例年通りの淡緑色の装丁で，内容も豊富になり，年度内被害を集録してあります。尚，刊行と同時に発送を行つていますが御手元に届きましたら御一読をおすすめいたします。又同書を御希望の方がございましたら林野庁造林保護課あてお問い合せ下さい。

編集後記　前号に引きつづき情報のために大部を費しました。情報の収拾に嬉しい悲鳴を上げています。今後も被害速報につとめていただくようお願いします。鋭意後れを取り戻すことにつとめていますから，間もなくその月の号はその月に刊行されるようになることと思つています。　（編集委員）